

2025年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

<2025年度専任教員退任挨拶>



「同窓会でお会いしましょう！」

秋葉 賢一 教授

2年生の皆さん、会計研の修了、おめでとうございます。20期生として今後、社会で活躍することを期待しております。また、1年生の皆さんも1年後には、無事終了することを願っています。2009年9月から、会計研で教えてきた私も、この2026年3月末で退職いたします。これまで大変お世話になりました。

退職にあたり、自らの行動を振り返ることが通例ですが、今回は、今後、皆さんがプロフェッショナルとして羽ばたくにあたって、2点、申し上げたいと思います。1つめは、今後も、皆さん自身の価値、バリューを高めていって頂きたいということです。単に資格のありなしではなく、プロフェッショナルとして、専門的な能力を活かし、適切な判断力をもって問題解決できる力を向上させてください。

これまで身につけてきた知識やスキル、考え方をベースに、自分自身のバリューを高めることを日々、意識していけば、どのような組織に属するかなどに関わりなく、有意義なキャリアにつながると思います。これまでの学生生活とは異なり、世の中には、理不尽なことが少なくありません。たとえば、すぐに日の目を見るようなことがなかったとしても、継続的に研鑽を重ねることによって、自分のバリューを向上させてください。

もう1つは、会計研のネットワークを活かして欲しいということです。会計研との関係は、修了をもって終わりではなく、引き続き、同期はもとより先輩や後輩、教職員の皆さまともコミュニケーションを図っていただきたいと思います。修了時期や所属を超えたネットワークは、日常的にはなくても、今後、何らかの形で役に立つと思います。特に、会計やアクチュアリーを中心とした狭い世界では、目に見えない繋がりが、付加価値を生み出すことも少なくありません。

例年9月に同窓会を開催していますが、その際には、是非、お会いしたいと思います。会計研の修了後、意義のある日々を過ごしていないと、同窓会に参加しにくい気持ちになりがちです。毎年ではなくても、何年間に1度は、同窓会に参加してください。自分自身のバリューを高め、会計研のネットワークを活かし、それぞれの職務に邁進していただき、皆さん、元気な姿で、また同窓会でお会いしましょう！

秋葉先生ありがとうございました

2025年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

<2025年度専任教員退任挨拶>



「心のふるさと」を去るに当たって
～伝えたい3つのメッセージ～

伏見 俊行 教授

早稲田大学の学部卒業後40年を経て大学に戻る話があった折に、早稲田に来る理由を尋ねられました。その時、即答した言葉は「早稲田は心のふるさとですから」。

そして7年が過ぎ、「心のふるさと」を去ることになりました。私にとって、同じ所で過ごす場所としては、国税庁本庁の15年に次いで、学生、教授として11年を過ごした場所です。その間、たくさんの皆さんにお世話になったことに、心から感謝を申し上げます。

去り行く者として、次世代の皆さんに、3つのことをお伝えします。

1 進取の精神を

国税庁で、あるいは退官後、私しか語れない経験をさせていただきました。知覧、広島などでの勤務を通じての平和の話、米国、インドネシア、中国との交流の経験を踏まえた国際税務交流の話、NHKドラマ作り、納税の歌の発掘、小説の執筆、朗読劇の公演などです。最初のメッセージは、こうした自分だけしか語れない、自分だけの仕事を探し、作り、実践すること。誰でもできる仕事は、誰かに任せる。自分しかできない仕事、貢献を是非考えていただきたい。これは、まさに早稲田の「進取の精神」と言えるものでしょう。

2 何が大切か、見極める力を

米国先住民の言葉に「今の地球は、未来の子孫から借りているもの」というものがあります。そうであれば、いかに守り、より良くして、次の世代に引き継ぐべきかが大切です。しかし、昨今、自分たちの目先の利益のために、自分だけ良ければという行動が見られませんか。経済優先、環境破壊、格差の拡大、財政問題、軍拡、戦争など。これで良いのでしょうか。未来の子孫のことを考えると心配になります。

3 「すべての基本は思いやり」

これまで、日本人は争いを嫌い、相手への思いやりを持ち、相手本位の行動を大切にしてきました。だからこそ、平和を愛し、秩序を守り、倫理感が高く、技術革新を続け、おもてなしの心を持ち、結果として、国際協調、経済発展、他国からの信頼を得たのです。この日本人の最も大切にすべき心を失わないでほしいと思います。このたび早稲田を離れますが、他の大学で教育活動は続けていきます。そして、朗読劇、小説の執筆など、平和活動、社会貢献活動を続けていきたいと考えています。皆様の一層のご発展、ご多幸をお祈りします。ありがとうございました。

伏見先生ありがとうございました